

第9回プラスチック削減オンライン連続セミナー（最終回）アンケート結果

映画の感想

子ども達がプラごみに対する問題意識を通じて、現状を知り、問題について学びどうしたらいいのか考えて周りも巻き込み、社会を変えていく力はとても将来に期待がもてました。そしてそれを支える家族や先生や学校は素晴らしいと思いました。ぜひ、多くの日本の学校現場で上映し、専門的分野の教育を日本の教育現場でもとりくみして欲しいと思いました。

考えさせられる映画でした。映画をNPOのメンバーで共有したいので、良い方法があれば教えてください。現在、小中高生向けのプラごみのパンフレットを作成中で、完成後、セミナーを排済予定です。その折に映せるダイジェスト版をご提供いただければありがたいです。

とても感動しました。プラスチックの生活に慣れてしまっている今、現状の生活を変えることはできないと最初からあきらめている人が多いと思います。

脱プラなんてそんなきれいごとを言っても所詮は、恩恵に預かっているのではないかと、即一括される今の日本です。

でも、このドキュメンタリーを見て、子どもたちが自分たちの問題から、世界の問題、地球の問題、そして自分たちがそのために実際に何をしたらよいか、一つひとつ学び行動し解決していく姿を見て、とても勇気をいただきました。長野でも上映会をしたいと強く思います。ありがとうございました。

子どもたちと先生や職員の方々の生き生きとした表情に心打たれます。子どもたちの真剣な訴えがきちんと届くことに勇気をもらいました。吹き替え版が楽しみです。

小豆島環境とくらしの連絡会は島のごみ問題・香害問題について、啓発活動を行っております。映画を見て、データを示しての訴えは効果的であると再認識しました。そして、議員、行政への働きかけを積極的に行っていこうと思いました。

鑑賞は2回目ですが、今回も子どもたちを信頼しつくし、自分たちも共に課題を解決していく大人たちの姿にまず、感動しました。

プラスチック削減は個人の足元からの小さな活動からスタート。それを昇華させ、拡大していくには仲間づくりと一緒に働くシステムづくり。私はもう一度、仲間づくりのところから、自分ができることで頑張る勇気をこの映画からもらいました。

| |
|---|
| <p>米国の小学生目線で「見て・感じた」ままの素直な発言や活動が素敵。 その子どもたちの気付きを大切に育む大人の包容力が素晴らしい。 学校長も、市議も、市長も、子どもの意見に耳を傾けて拍手喝采して応援するなんて、日本では見られないかも。子ども同士の足の引っ張り合いとかいじめが出るかも。 企業による圧力というよりは、企業に対する遠慮で口を閉すかも。 それらを踏み越える勇気がない多くの日本人は「面倒くさいから」「どうせ変わらないから」と見て見ぬふりをする。 窒息しそうな日々の中で、この映画を見て、監督の話を聴き、プラスチック削減の活動に本腰を入れたいと思った。海のゴミ拾い、涸沼クリーンアップのメンバーにも声をかけて、生活クラブ茨城で上映会を開催したいと思う。その際にも監督とオンライン座談会ができればいいのですが、可能でしょうか!?□</p> |
| <p>何度観ても、響くものがある映画だと思います。子供たちから勇気をもらいました。</p> |
| <p>小学生が気づき、考え、行動にまで及んでいて驚いた 今の近辺の若者にこのような行動力、熱意があればいいのにな、と思ってしまう</p> |
| <p>ゴミ拾いの詳細なデータを作成し、考え、悩み、工夫し、発言し議会で証言する。自然に税金、政治の事を考えるようになる。さらに子供たちの頭は社会倫理まで考えるようになっていく。佐竹さんはじめ先生方のご苦労は察するに余りありますが、この運動に取り組む子供たちの明るい表情を見てその指導の素晴らしさに感動しました。</p> |
| <p>小学生が自分事として脱プラに取り組む姿が感動的でした。こどもこそ、きっかけさえあれば社会問題を改善していく原動力になれるのですね。</p> |
| <p>こどもたちが次々に課題を見だし解決に向けて頑張っている姿に元気をもらいました。先生はじめ周りの大人たちが、こどもたちをほんとうにあたたかい気持ちでたいせつに思っていることを感じました。 いまでできることしなければならぬことを行動にうつしていこうと思います。 素晴らしい映画をありがとうございました！</p> |
| <p>ドラマでなく説得力のあるドキュメンタリー方式で編集されているのと子ども達の生き生きした表情が問題の重要性をさらに強調していた。広範囲なプラスチックフリーまでをめざしていることも良かった。</p> |
| <p>本当のこと字幕追われ映像をもう一度見たいと思っております。陸から海岸からのゴミ拾いの実践、プラスチックの劣化の状況また市議会での発表とても内容の充実したドクメンと説得力満点です 最後まで見入ってしまいました。有難うございました。脱炭素、地球温暖化対策とこの 30 年が地球の危機であることをどのくらいの人々が感じているのでしょうか、と思い政府の対策を国民に明示して欲しいと思っています。</p> |
| <p>① 疑問を持ちながら日々成長していく、お子さんたちに感激しました。 ② マイクロプラスチックの基本の「基」を学び、問題点を広げたいです。 ③ 総理が代わったとたん、レジ袋の有料化に反対するニュースが多くなり、とても危惧しています。この映画の内容を多くの方に知ってもらいたいです。</p> |
| <p>参加型の教育が素晴らしいです。</p> |

映画:マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくたちの 2050 年～をみた。ニューヨークの小学生が海ゴミの学習をし、海岸や街中でのプラゴミの多さに気づき、行動しなきゃ、とまず学校の食堂でのプラをなくそう校長に訴え、プラ無し昼食の日を実現し、発泡スチロールを無くすように市議会に訴え、数年後に実現させた感動の記録映画でした。私の最大の学びは、小学生こそ社会的課題を学ぶべきだということです。日本の環境教育では、小学生で「感じること」、中学生で「学ぶこと」、高校生で「行動すること」と発展段階に応じた学習過程が想定されていますが、小学生でも学び、行動することができることをこの映画は証明しています。むしろ、正義感にあふれている小学生時代の方が、社会の現実を感じ始めている高校生より、海や地球環境の危機に対して大きな危機感を持って調査や行動に立ち向かうことができるのだとさえいえるでしょう。15歳のグレタさんが「今は、学校での学びより、私たちの未来が大事！」と大きな危機感を持ち、行動したのも若い人ほど正義感が健全だからではないでしょうか。大人になるほど雑音が多くなり、目が曇らされてきたのではないかと改めて反省させられてもいます。2021.10.16

世界中のひとに観てほしい、いや観るべきだと思いました。ごみをテーマにしながら、根底にあるのは変革、そしてエンパワメントですね。これぞ真の教育だと思いました。

よかったです。マイクロプラスチックについて学ぶと同時に、学んだ子ども達が市議会や市長に訴え、政策を変えるに至ったということが素晴らしいと思いました。日本の子ども達や教育関係者にも見てもらいたいです。

子ども達の力が嬉しい

子どもたちの自発的な活動を引き出すような取り組みに感心しました。日本の小学校でも見てほしいですね。

中学生前の多感な時期に、熱意をもってマイクロプラスチックを調べあげ、削減に向け社会の仕組みにまで活動の幅を広げ、地域を変えていったことに心が動かされました。更にその活動を身近で見ている後輩の小学生たちにも好影響を与えていると思います。クラスメイトと結束できたことは今後の仕事や人生に活かされるいい経験ですね。我々大人たちもやらねば、と強く感じ入りました。

子どもの明るさ素直さに感動。それを受け止める地域や行政や市当局の在り方も、硬直的ではなくて、日本だったら...と考えてしまいました。

否...今は日本だったら、ps15だからなんて言っている場合ではないことを一人ひとりが気づき、訴え、変えていかなければいけない時に来ています。

映画の主旨と離れますが、日本の学校給食のありがたさ(手作り、食器、栄養など)をあらためて感じました。

子どもたちが調査活動から、マイクロプラスチック問題を自らの問題とし、改善のためのアクションを起こすまでに至ったことに感動しました。こうした環境学習があちこちで行われ、地球規模の環境問題に次世代がしっかりと向き合ってくれたら...と希望がもてました。

| |
|--|
| <p>今回初めて観たのですが、期待した以上の内容でした。</p> <p>マイクロプラスチック汚染が海洋のみならず、飲料水や大気にも拡散していることまで問題提起していることを評価します。今や全ての生活環境がプラスチックで汚染された状態にあることを改めて認識しました。この問題に NY 市の小学生たちが果敢に取り組み、市議会や国会議員にまで訴える姿は素晴らしいです。一部疑問な点(なぜ使い捨て容器をリユース食器に変えないのか等)もありましたが、この映画は日本の小中学生・教育者はもちろん、全ての政治家や自治体職員にも観て欲しいと思います。</p> |
| <p>すぐわかりやすく、子どもたちのまっすぐな気持ちと一生懸命さに感動しました。</p> <p>小学校 5 年生がプラスチックに対して問題意識を持ち、解決に向けてアクションを広げているのは素晴らしいと同時に、ディベートでは説得力があり的を得たやり取りに驚きました。また、子どもたちの要望を受け止め、意見を尊重する学校の柔軟な考え方が素敵です。日本ではと考えるともっと身近な問題と捉える共育が必要。さまざまな年代のテキストとしていろいろなところで上映できたらいいし、活動の広がりをもっと作らなくてはとあたためて思いました。ありがとうございました。</p> |
| <p>子供たちが海岸で拾っている場面、大きな口を開けてびっくりしたり騒いだりとても若いから理解できます、が、マスクつけてないと危なくないかと心配になりました。また、字幕が隠れてほとんど読めませんでした。zoom 画面の限界でしょうか。マイクロファイバーの授業での実験はとてもみごたえがあり、また視聴したいです。</p> |
| <p>学びあい、自分ごととして切り開いていく子どもたちのパワーと、寄り添い引き出す大人たちに圧倒された。制度、地域やお国柄等、全く知識がなかったが、見ている私もいっしょに達成感を味わうことで最高でした。</p> |
| <p>動き出せば変わるんだという強いメッセージが伝わりました。素晴らしい映画でした。上映後の監督の映画の背景のお話もとても面白かったです。ありがとうございました！</p> |
| <p>子供でも大人でも、仲間と一緒に調べ、考え、人に伝えることは大切な活動です。</p> <p>生きて行くための基本です。</p> <p>自発的な学びを育む教育、子供と手を取り合う大人の気構え、今の日本にもぜひ欲しいと思いました。</p> <p>私もひとりの大人として諦めず周りと話して行こうと思います。</p> |
| <p>生協学習会で中井さんや武本さんの川や海に浮かぶプラ容器映像や容器を拾ってもその下にある砕かれたプラの破片などを見て絶望的な気持ちになっていましたが、学生たちの率直な行動力に励まされました。議会で発言した学生たちが民主主義に協力してくれてありがとうと言われたり、EPS 企業側と消費者に分かれた討論の授業風景には日本との差に驚きました。ランチ後の分別方法を伝えていた地域 NPO の方の住みやすい街にしようと長年仕事をしている姿が頼もしく思えました。</p> |

座談会の感想

座談会に参加させていただき貴重な機会をありがとうございました。プラごみ問題を子ども達と共に運動されて、世界、社会を変えていく力をつけて欲しいとの佐竹さんの深い人間愛を強く感じました。プラごみ問題は家庭でできることも多くあります、プラごみを無くしていく気持ちを多くの方にもってもらえるようにしていきたいです。

佐竹監督の撮影の裏話は大変役立ちました。カットされた部分の映像も見てみたいです。

「変革のレシピ」心に残りました。プラスチックの生活を見直すきっかけとして佐竹さんがお話しされた、「自分の使用している使い捨てプラスチックの使用量の見える化と4分別の仕分け」、これは、自分事としてプラスチック問題を考える良いワークだと思います。ワークの書式などありますか？実践したいです。

佐竹さんのお話しにすっかり引き込まれました。映画を観るだけではわからないことも知ることができ、2回目の視聴だったのですが再度観たくなりました。声優希望の子どもたちにプラスチック削減アンバサダーになってもらったこと、生産者に個包装ではなくしてほしいと声をあげることなど小さな発信を常にする、解決のスキルのお話し、、、たくさん心に響きました。早速、まわりの人に広めたい、自分自身も実行したいと思いました。

監督のお人柄に魅了されました。

残りの人生(おそらく10~20年)は、プラスチック削減をテーマに活動したいです。

自分に出来ることをさらに模索中。

みんなと出来ることを思案中。

佐竹監督の熱のあるお話を聞くことができ、諦めずに続けることが大事と改めて思います。札幌第三友の会では8月末に環境生活パネル展を行い、暮らしの中で出来ることを伝えたいと今も取り組んでいます。今日いただいた刺激を仲間に伝えたいと思います。ありがとうございました。

佐竹さんのお元気に圧倒されました。素晴らしい運動の最初はハードルを高くしていないようで、印象的でした。

佐竹監督の熱い思いに触れて、この映画の根底に流れる力強さに納得しました。

監督の熱い思いが画面越しにひしひしと感じられました。変革のレシピ、家族で、友人で、地域で実践して行きます。ありがとうございました！

時間の都合で退出

佐竹監督が最初に息子さんの学校での衝撃から発展して実行に移すお話を聞き良かったです

監督さんのお人柄、撮影のエピソードなどとても興味のあるお話でした。違った視点で、再度視聴します。

説得していく方法が良いと思いました。

監督のお人柄がチャームアップ！ 有意義な時間でした。

質疑を通じて、監督からいろいろなお話を聞いて有意義でした。ニューヨーク市長の発泡スチロール容器禁止の記者会見に子ども達が参加したというシーンも映画に入れていただけたらよかったですのでは！と思いました。

佐竹様のお話は同じ母親として納得することが多く、母親たちも社会を変えるために日々アンテナを張って
いかなければならない、と感じました。種を頂き佐竹様から水を与えて頂きました。

大変良い試みですが、もう少し時間があれば多くの参加者と意見交換ができたと思います。

いまはコロナで会議が制限されていますが、市民、親子がさんかしてくれるイベントには上映できるようにし
たいです。吹き替えよろしくお願ひします。ニューヨーク市がこの後「使い捨て発砲スチロール容器廃止とレ
ジ袋禁止にした」などの注釈もあるとなおうれしいです。